

鳥取の民話

収録・解説 酒井董美 たけよし

37

あらすじ

語り手 大原寿美子さん(明治40年生まれ) 昭和54年10月9日収録

隣のおばあさんが聞いて、「そっか、そっか、おじいさんを座らして、

うらもお地蔵さんを信心してみよう」と言った。「おじいさん、おまえ、行って座つとれ。糊を持つて行ってかぶせるけえ。お地蔵さんに何でも信心するじゃ」言つた。そして、おばあさんが、おじいさんを座らして、

隣の爺も糊かぶりまねる

うらもお地蔵さんを信心してみよう」と言った。「おじいさん、おまえ、行って座つとれ。糊を持つて行ってかぶせるけえ。お地蔵さんに何でも信心するじゃ」言つた。そして、おばあさんが、おじいさんを座らして、

解説
関敬吾『日本昔話大成』の話型では本格昔話の「隣の爺」の中の「猿地蔵」に相当し、以下のよう

すえて、「お地蔵さんじゃ、お地蔵さんじゃ」言

昔、おじいさんが「ばあさん、うらは畑を打ちに行つて、座つとるけえ、糊を煮て頭からかぶしてごせえや。お地蔵さんになるけえ」。おばあさんも承知してそのようにしてあげた。

そつしたところ猿が出てきて、「おこ、おこ」に白子地蔵さんがおられる。「ええもんを持つてきてすえよ」とあれこれと食べるもんから、お金からいっぺえすえた。おじいさんは晩にお金をみんなもらつて戻つ

猿地蔵

(八頭郡智頭町波多)



イラスト・福本隆男

「お地蔵さんじゃ、お地蔵さんじゃ」言

大原さんの語りもこの範疇に当てはまるのである。(元鳥取短期大学教授)(水曜日に掲載)